

令和4年12月23日

地域の大学生との連携（橋渡し）ガイドブック ～連携のノウハウやQ&Aをまとめました～

「大学連携（橋渡し）ガイドブック」に続いて「地域の大学生との連携（橋渡し）ガイドブック」を発行しました。

ユニコムプラザさがみはらは日々多くの大学生に利用されており、大学としての利用、ゼミナールとしての利用は勿論、地元に住居する大学生（地域の大学生）の個人利用も増えています。

地域の大学生の在籍大学は様々ですが、この地域に生まれ育ち、これからも長く住み続ける可能性が高く、地域活動への継続的なかわりが期待できます。

このたび、市民向けに地域の大学生との連携（橋渡し）についてノウハウやQ&Aをガイドブックにまとめました。ぜひ、ご活用ください。

ガイドブックのイメージ（A4版を三つ折りにして配布しています）

橋渡しQ&A

Q1 私の活動は輸出しますか？
A1 どのような分野・テーマで実施しますか。

Q2 連携したい大学生の経歴や情報がないのですが？
A2 連携したい学生のイメージが浮かばず、検索しにくい、イメージがなくて検索が難しい、ホームページやSNSでも検索が難しい。

Q3 何を準備したらよいですか？
A3 連携したい学生のイメージが浮かばず、検索しにくい、イメージがなくて検索が難しい、ホームページやSNSでも検索が難しい。

Q4 相談にお金はかかりますか？
A4 相談一環は無料です。業務内容によっては、実費や旅費がかかります。

Q5 報告などの義務はありますか？
A5 企業準備が完了してはいますが、連携の進捗について報告などの義務はありません。報告していただく場合は、連携がスムーズに進みます。

Q6 連携までどのくらいの期間がかかりますか？
A6 フェーズワークですが、早いもので1ヶ月、長い場合は2ヶ月程度となります。

事業紹介
一般向け（橋渡し）

学生向け（学生のスタートアップ事業）

Q&A
大学生向けには、学生のスタートアップ事業があります。詳しくはお問合せください。

お問い合わせは 042-701-4370

橋渡しとは
市民・市民団体と大学生のそれぞれのコース・シーズを結ぶことで、Win-Winの関係になるものについて、連携が開始されるまで、アドバイス、訪問説明、条件交渉、フィードバックなどを行うものです。

橋渡しの流れ（連携の決定まで）

相談（相談窓口にて） → 企画書（相談者作成） → アドバイス（相談窓口（電子メール）橋渡し） → 地域の大学生（相談窓口（電子メール）SNS）

事例例1：総本サロンの運営
地域団体が主催する多世代向け総本サロン運営に協力して学生がボランティア参加

事例例2：パンフレット作成
ヤングケアラーの啓発活動のためのパンフレットを学生と共同作成

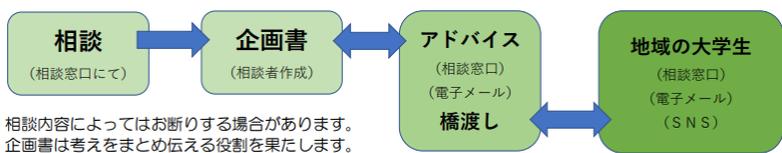
不適切な相談例
・この企画をひとりでスタッフが能率的にこなして欲しい、連携がなくても学生に頼みたい。
・地区のお祭りやイベント、連携してやりたいが、誰かに大学生を30人程度で欲しい。
・新年度「新しい力を借りて地域を活性化」というのを我々、全てお任せするので大丈夫です。
これは自分たちが大学生のメリットを考えていない事例です。人材育成の視点で考えてください。

※ 年間30件程度の連携実績があります。詳しくは、相談窓口までお問い合わせください。

地域大学生の在籍大学

青山学院大学・麻布大学・和泉短期大学・桜美林大学・神奈川大学・神奈川工科大学・関東学院大学・北里大学・慶應義塾大学・恵泉女学園大学・國學院大学・国際医療福祉大学・相模女子大学・相模女子大学短期大学部・サレジオ工業高等専門学校・産業能率大学・松蔭大学・湘南工科大学・湘北短期大学・女子美術大学・星槎大学・聖セシリア女子短期大学・専修大学・多摩大学・玉川大学・多摩美術大学・鶴見大学・東海大学・東京家政学院大学・東京工芸大学・東京造形大学・東京農業大学・日本大学・日本映画大学・日本女子大学・法政大学・町田製菓専門学校・山野美容芸術短期大学・横浜国立大学・横浜創英大学・横浜桐蔭大学・横浜美術大学・和光大学 など

橋渡しの流れ（連携の決定まで）



相談内容によってはお断りする場合があります。企画書は考えをまとめ伝える役割を果たします。

地域の大学生には、連携情報が受け取れるよう学生専用のLINE登録を勧めています。

市民からの連携案内（募集など）はLINEで大学生に配信しています。

大学生向けには、学生のスタートアップ事業があります。詳しくはお問合せください。

問合せ先：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム
ユニコムプラザさがみはら 所長 金森 巖
電話 042-701-4370